

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

(退職給付引当金)

役職員の退職給付の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	42,226,530	45,892,577	42,226,530	45,892,577
投資有価証券	2,957,773,470	100,298,500	103,964,547	2,954,107,423
小 計	3,000,000,000	146,191,077	146,191,077	3,000,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	1,909,000	996,000	0	2,905,000
小 計	1,909,000	996,000	0	2,905,000
合 計	3,001,909,000	147,187,077	146,191,077	3,002,905,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	45,892,577	( 45,892,577 )	( - )	( - )
投資有価証券	2,954,107,423	( 2,954,107,423 )	( - )	( - )
小 計	3,000,000,000	( 3,000,000,000 )	( 0 )	( 0 )
特定資産				
退職給付引当預金	2,905,000	( - )	( - )	( 2,905,000 )
小 計	2,905,000	( 0 )	( 0 )	( 2,905,000 )
合 計	3,002,905,000	( 3,000,000,000 )	( 0 )	( 2,905,000 )

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
三菱東京UFJ銀行第32回期限付劣後社債	100,000,000	100,250,000	250,000
第62回三井物産社債	100,464,223	102,001,000	1,536,777
第61回利付国債	199,411,000	204,460,000	5,049,000
三菱東京UFJ銀行第32回期限付劣後社債	100,063,700	100,250,000	186,300
三菱東京UFJ銀行第32回期限付劣後社債	200,123,300	200,500,000	376,700
三菱東京UFJ銀行第32回期限付劣後社債	100,050,000	100,250,000	200,000
BTMUキョウソウホールディングユーロ円建期限付劣後債	100,000,000	101,181,000	1,181,000
三菱東京UFJ銀行第35回期限付劣後社債	100,313,500	101,052,000	738,500
第35回日本郵船社債	100,123,200	100,952,000	828,800
第14回旭硝子社債	100,179,600	101,998,000	1,818,400
第11回三菱UFJ信託銀行社債(劣後特約付)	100,582,700	101,384,000	801,300
第89回住友不動産社債	100,638,500	102,150,000	1,511,500
第98回丸紅社債	200,878,100	204,280,000	3,401,900
第4回三越伊勢丹ホールディングス社債	100,817,100	101,940,000	1,122,900
第97回住友不動産社債	100,324,700	102,346,000	2,021,300
第334回利付国債	50,137,800	51,185,000	1,047,200
モルガン・スタンレーユーロ円債ステップアップ債	100,000,000	100,226,000	226,000
BPCE第7回円貨社債	100,000,000	102,230,000	2,230,000
BPCE第8回円貨社債	100,000,000	100,260,000	260,000
第4回MUFJ永久劣後債	100,000,000	100,438,000	438,000
第5回MUFJ永久劣後債	200,000,000	206,752,000	6,752,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第7回無担保永久社債	100,000,000	103,578,000	3,578,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第9回無担保永久社債	200,000,000	206,402,000	6,402,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第11回無担保永久社債	100,000,000	100,432,000	432,000
三菱UFJフィナンシャルグループ第13回無担保永久社債	100,000,000	100,407,000	407,000
基本財産(債券)合計	2,954,107,423	2,996,904,000	42,796,577

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	148,785	148,784	1
合 計	148,785	148,784	1

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息(指定)	34,930,091
合 計	34,930,091

## 7. 金融商品の状況に関する注記

### (1) 金融商品に対する取組方針

当財団は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券及び定期預金により資産運用します。尚、外貨建運用及びデリバティブ取引は行わない方針としています。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券発行体の信用リスクについては、定期的に把握し、理事会に報告します。

### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

金融商品の取引は、当財団の資産運用規程に基づき行います。資産運用規程の改定には、理事会の承認を要します。